

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
104	個別言語研究 <Studies in Individual Languages>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
言語学	佐久間 淳一(SAKUMA Jun'ichi)		前期	木曜：2限
講義題目 Title	エストニア語文法初級			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	履修条件は特にありません。 語学の学習には日々の訓練が欠かせません。週1回の授業ではなかなか身につかないので、毎回課題を出します。課題に取り組むには2, 3時間かかるかもしれませんが、そのつもりで受講してください。			
授業の目的 Purpose	言語の仕組みを知るには、できるだけ多くの異なるタイプの言語を知る必要があります。本講義は、既習の言語と異なるタイプの言語を学ぶことを通して、高い異文化理解能力と言語運用能力を身につけることを目的としています。 本講義の目的は、エストニア語の構造上の特徴を概観することで、語学としてエストニア語をマスターすることではありませんが、基本的な表現は身につけたいと思います。 The aim of this course is to get familiar with the Estonian language and to capture the structural properties of the Estonian language in order to realize the variety of the world languages.			
授業の内容 授業の方法 Content	エストニア語は、フィンランド語と同じくウラル語に属する言語です。文法はフィンランド語とよく似ていますが、発音や語形変化は、フィンランド語より少し複雑です。 授業では、まず、エストニア語はどんな言語なのか、話者人口や言語学的な位置づけなどの話をします。続いて、発音練習に進みます。エストニア語は、英語に比べると、はるかに語形変化の多い言語です。格の数が多く、しかも違う格なのに同じ形になってしまうこともあるため、特に名詞の語形変化は大変に見えるかもしれませんが、基本的なパターンは覚えるようにしてください。文法事項としては、名詞や動詞の語形変化の他、格の用法、疑問文や否定文の作り方、存在文や所有文、不定人称受動文の用法などを学びます。 適宜、エストニアの社会や文化についての情報も提供したいと思います。			
教科書 テキスト Textbooks	プリントを配布します。			
参考書 References	町田健、佐久間淳一ほか『ヨーロッパのおもしろ言語』、白水社 その他の参考書は、授業中に適宜紹介します。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業で学習したことの復習として、毎回課題を出します。自宅で取り組んで、翌週の火曜日までに提出してください。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	課題への取り組み(40%)、学期末試験(60%)の合計で評価します。語学の学習は継続して取り組むことが肝要です。課題への取り組みで、学習への意欲を確認します。また、学期末試験で、エストニア語の構造の概略が把握できているかどうかを確認します。 なお、5回以上講義を欠席した場合は、学期末試験の点数にかかわらず単位を認定できないので、注意してください			
連絡方法 Contact information	事前にメール(jsakuma@lit.nagoya-u.ac.jp)をもらえれば、随時対応します。			